

生徒心得と学校生活のルール

1. 大垣養老高校生としての心得

大垣養老高校生である自覚と誇りを持って自分の行動を律し、明るく充実した校風作りに努めよう。

- (1) 規律ある生活を送ろう
 - ・意欲と関心を持って、授業にのぞもう
 - ・目標を持って生活し、時間を守って行動しよう
 - ・常に学校へ連絡を怠らないようにしよう
- (2) お互いの人格を尊重しよう
 - ・意見の違いを認め合おう
 - ・他人に不愉快な思いをさせるような行動は慎もう
 - ・自分の意志をはっきり表示できるようになろう
- (3) 公共物を大切にし、校内の美化に努めよう
 - ・皆で使う物は大切にしよう
 - ・校内美化のため、まず汚さないようにしよう
- (4) 健康管理に留意しよう
 - ・規則正しい食生活をし、睡眠時間を十分にとろう
 - ・適度な運動を心がけよう
 - ・心身が不調になった時、適切な対処ができるようになろう
- (5) 交通安全に努めよう
 - ・交通ルール・マナーを守ろう
 - ・余裕を持って登下校ができるようにしよう
 - ・夜間、雨降り、降雪時には特に気をつけよう
- (6) その他
 - ・男女交際においては、お互いの人格を尊重し、健全な交際を心がけよう
 - ・他人に不愉快な思いをさせないように、公衆道徳を身につけよう
 - ・自分の持ち物については、しっかり自己管理しよう

2. 教育相談について

(1) 学校における教育相談体制

本校では、教育相談室を設け皆さんの様々な相談を受け入れています。

高校での3年間は、体や心が少年期から青年期へと、はげしく移り変わって行く時です。成長も早いですが、壁にぶつかって苦しむことも多く、それが、ごくあたりまえの生徒の姿なので、悩みがあるのは自然で当然なことです。

そんな時、皆さんはどうしますか。友だちと話し合う、先生や両親と相談する、きっとそんなふうにして解決をはかっていることと思います。相談する、それはたいへんよいことです。

そこで、本校では、皆さんがいつでも相談しやすいよう、教育相談係を設けて、皆さんが相談に来てくれるのを待っています。どんな問題でも気がねなく相談に来てください。

相談の内容については、かたく秘密を守ります。教育相談室・保健室の先生方に相談してみてください。もちろん担任や副担任の先生方も気軽に相談に応じてもらえます。

(2) 学校外の相談機関

学校以外にも生徒の皆さんや保護者の方々の様々な問題を相談できる、関係機関が開設されています。相談の内容や相談者の都合によって、面談や電話、メールでの相談が可能です。

進路、性格、身体、友人関係などで悩みを持ちながら毎日を過ごしている人がたくさんいます。悩みはそのままにしておくとしだだ大きくなって、自分の力だけでは解決できなくなってしまうことが多いものです。悩みは小さいうちに担任や相談室の先生にまず相談して解決しましょう。しかし、中には身近な人に知られたくないような悩みもあるでしょう。このような人のために、電話相談を開いています。ダイヤル先は教室等に掲示してあります。あなたの名前や学校名を聞かずに、あなたの身になって相談ののってくれます。だれにも知られたくないような悩みのある時、気軽にダイヤルしてみましよう。